



県内経済情勢 (令和6年4月判断)

令和6年4月22日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している」









| 項目 | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前回比較 |
|------|------------|-----------------------|---|
| 総括判断 | 持ち直している | 一部に弱さがみられるものの、持ち直している |  |

（注）6年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前回比較 |
|--------|------------------|---------------------------|---|
| 個人消費 | 緩やかに回復しつつある | 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある |  |
| 生産活動 | 持ち直しつつある | 足踏みの状況にある |  |
| 雇用情勢 | 持ち直しの動きに一服感がみられる | 持ち直しの動きに一服感がみられる |  |
| 設備投資 | 5年度は増加見込みとなっている | 5年度は増加見込みとなっている |  |
| 企業収益 | 5年度は増益見込みとなっている | 5年度は増益見込みとなっている |  |
| 企業の景況感 | 「上昇」超となっている | 「下降」超となっている |  |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を下回っている |  |
| 公共事業 | 前年を上回っている | 前年を上回っている |  |

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

物価上昇の影響がみられるなか、家電大型専門店販売額やホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店及びスーパー販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出数は一部メーカーの生産・出荷停止の影響により前年を下回っている。娯楽や飲食サービスなどは緩やかに回復しつつある。このように個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 3月は気温があまり上昇しなかったため、春物衣料の動きが鈍かったが、バレンタインをはじめとする洋菓子に加え、化粧品や婦人雑貨が好調に推移しているほか、物産展が売上を牽引しており業況は良い。(百貨店・スーパー)
- 食料品などの値上げによって消費者の節約志向は依然として高い状況。客数は減少傾向であるが、客単価が上昇しているため売上高は前年を上回っている。(百貨店・スーパー)
- 売上高や客数、客単価は前年を上回っている一方で、買上点数は前年を下回っているが、洗剤などの日用品を中心に割安感のある大容量商品にシフトしたことが主な要因と考えており、需要自体が減少したとの印象はない。(ドラッグストア)
- 2月は暖冬の影響で防寒着、暖房器具、カイロ等の冬物商品が総じて不振となった。一方、3月に入ってから房総半島周辺で地震が頻発した影響から防災用品が好調に推移したため、足下の売上は回復する見込み。(ホームセンター)
- 半導体不足等による生産遅延がほぼ解消したことで販売台数は回復傾向にあったが、自動車メーカーの生産・出荷停止の影響を受け、年明け以降の販売台数は前年を大きく下回っている。(自動車販売)
- 各種イベントの開催により来場者数は好調に推移しているほか、併設する宿泊施設も稼働率が続いている。(娯楽)
- 1月から3月はお正月に始まり、節分や卒業式などのハレの日が多いことから、他の時期と比べ来店客数は増える傾向にあるが、今期はコロナ禍が収束したこともあり、売上・来店客数とも伸びている。(飲食サービス)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

生産を業種別にみると、汎用・業務用機械、化学などが増加しているものの、生産用機械、鉄鋼、金属製品などが減少しており、全体としては、足踏みの状況にある。

- 石油関連の大型案件を受注するなど、海外需要が堅調であることから、工場稼働率は高水準となっている。(汎用・業務用機械)
- 中国の景気減速を背景とした外需低迷や国内における土木建築分野の人材不足・資材価格高騰による需要の先送りに加え、一部自動車メーカーの生産停止による影響などから、生産量は減少傾向にある。(鉄鋼)
- 能登半島地震を起因とした一部自動車メーカーの生産調整のほか、建設機械メーカーの需要回復遅れの影響を受け、生産は当初の見込みを下回っている。(金属製品)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

新規求人数は増加しているものの、有効求人倍率は低下している。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。このように雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

- 従業員の年齢構成が中高年に偏っており、若い社員を増やしたいと考えているが、賃金水準の高い大手企業に流れてしまっている。そのため、今後は海外にも目を向けて採用活動を行う必要があると考えている。(製造業)
- パートタイムの時給引き上げに伴い「扶養の壁」問題が発生することから、勤務時間を調整することなく働くことができるようにするため、パートタイムからフルタイムへの勤務形態転換を推進している。(小売業)
- 人手不足が喫緊の課題となっており、パートタイマー確保のために時給引上げが不可欠な状況となっている。(飲食サービス)

■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」(全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

- 製造業では前年比増減率29.1%の増加見込み、非製造業では同4.0%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同7.0%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は増益見込みとなっている」(全規模) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

- 製造業では前年比増減率13.3%の増益見込み、非製造業では同56.2%の増益見込みとなっており、全規模では同49.3%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」(全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

- 先行きについては、6年7~9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を上回っているものの、持家、分譲住宅は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

県内経済情勢 (令和6年4月判断)

(資料)

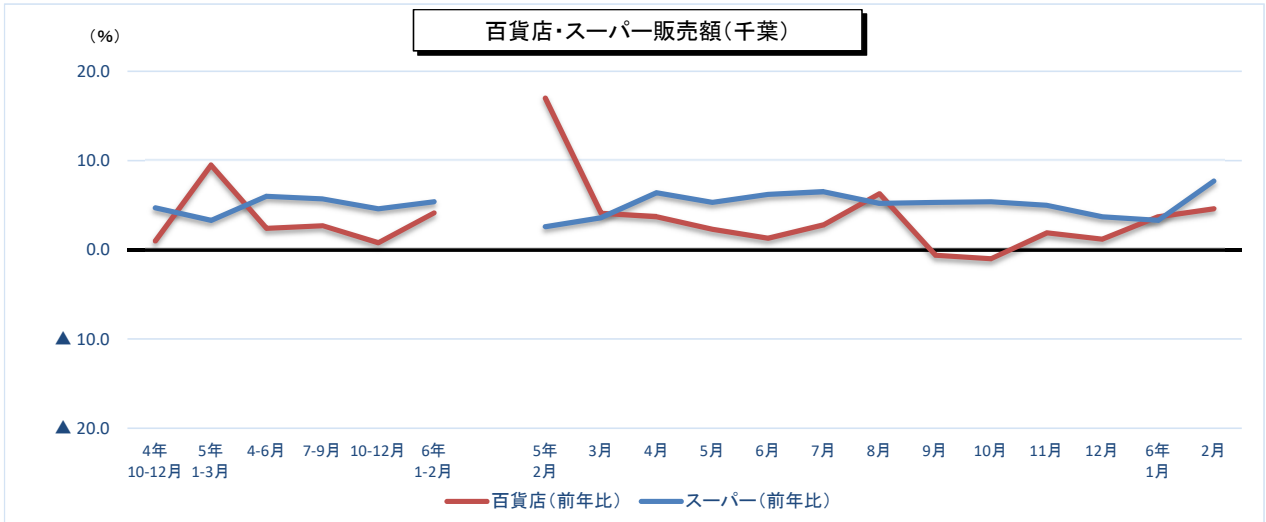
| 目次 | (頁) |
|---------------------|-----|
| 1. 個人消費 | 1 |
| 2. 生産活動 | 2 |
| 3. 雇用情勢 | 3 |
| 4. 設備投資 | 4 |
| 5. 企業収益 | 4 |
| 6. 企業の景況感 | 4 |
| 7. 住宅建設 | 5 |
| 8. 公共事業 | 5 |

令和6年4月22日

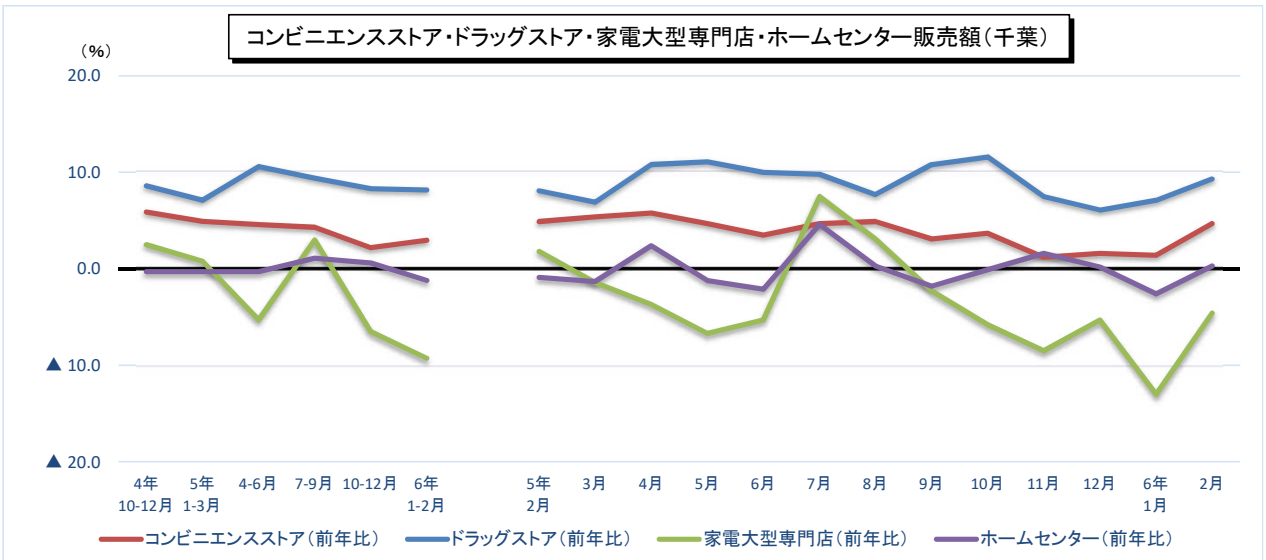
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

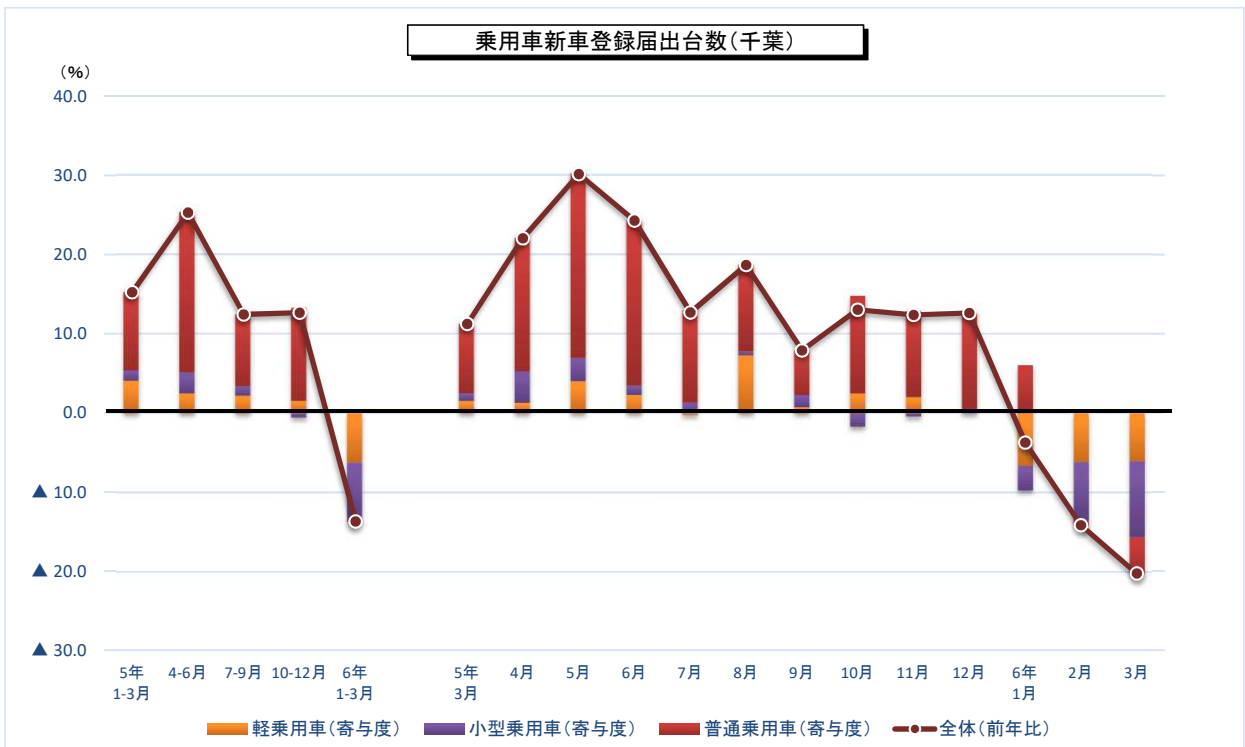
一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある



[経済産業省]



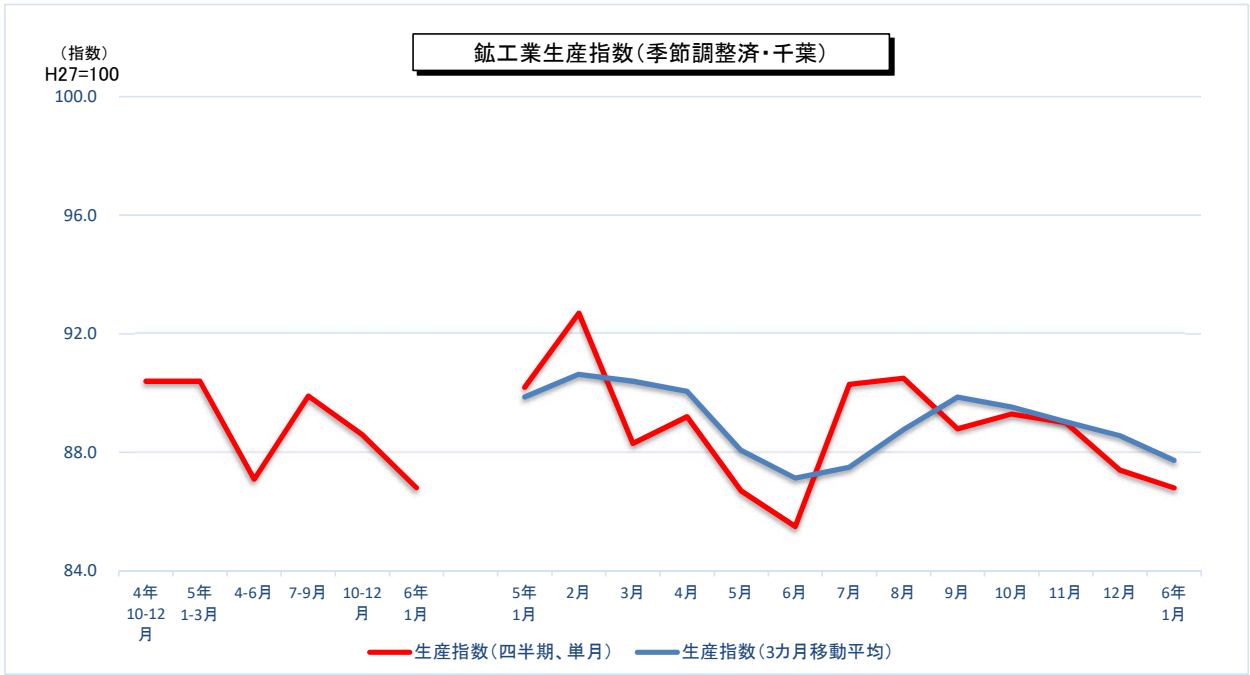
[経済産業省]



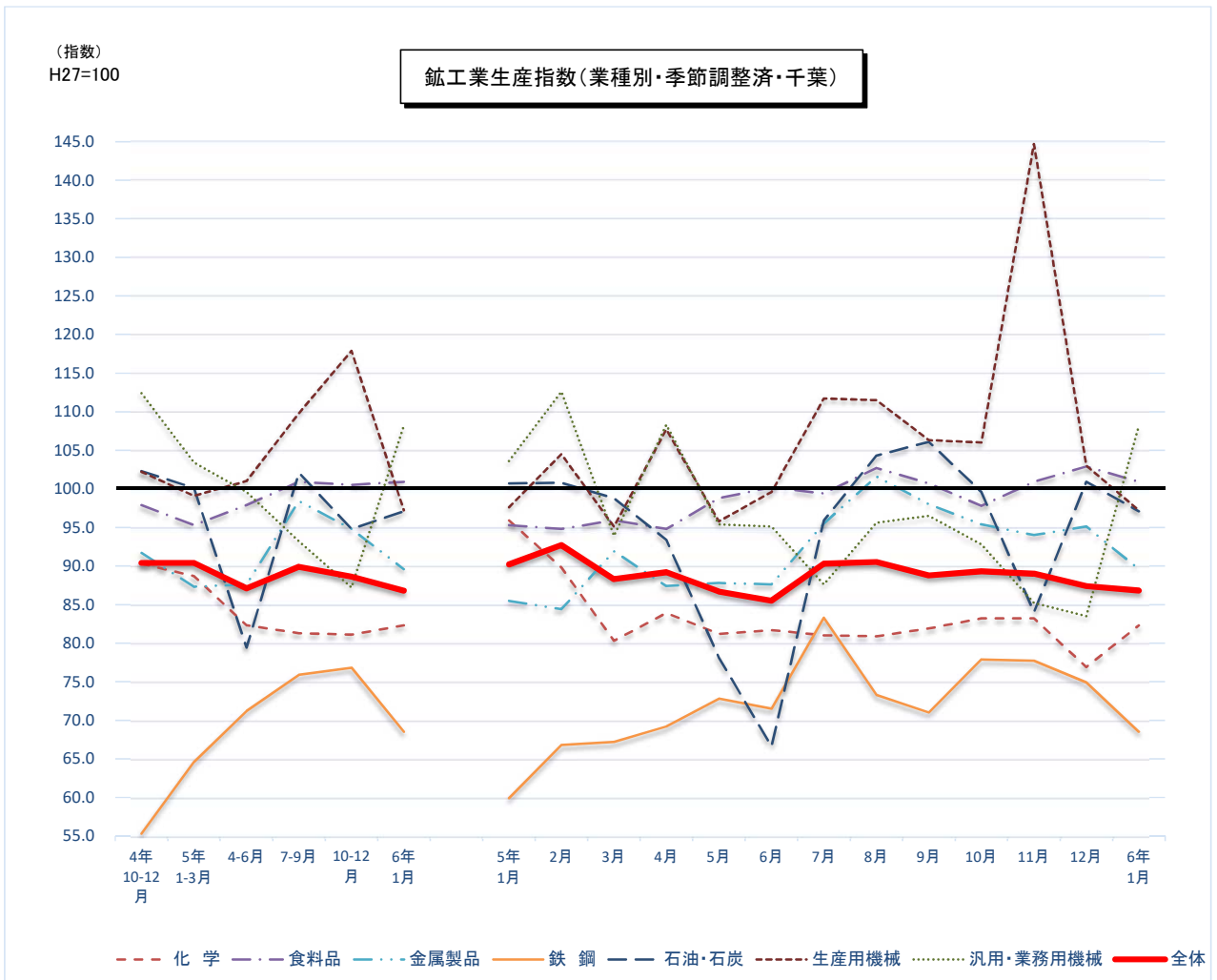
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

足踏みの状況にある



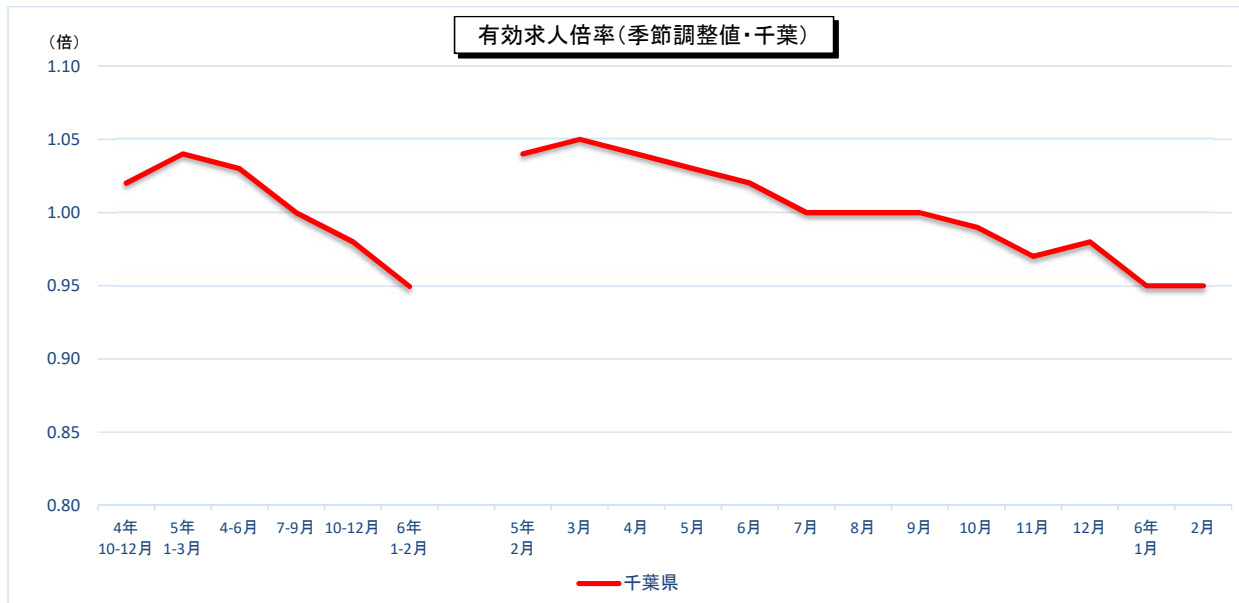
[千葉県]



[千葉県]

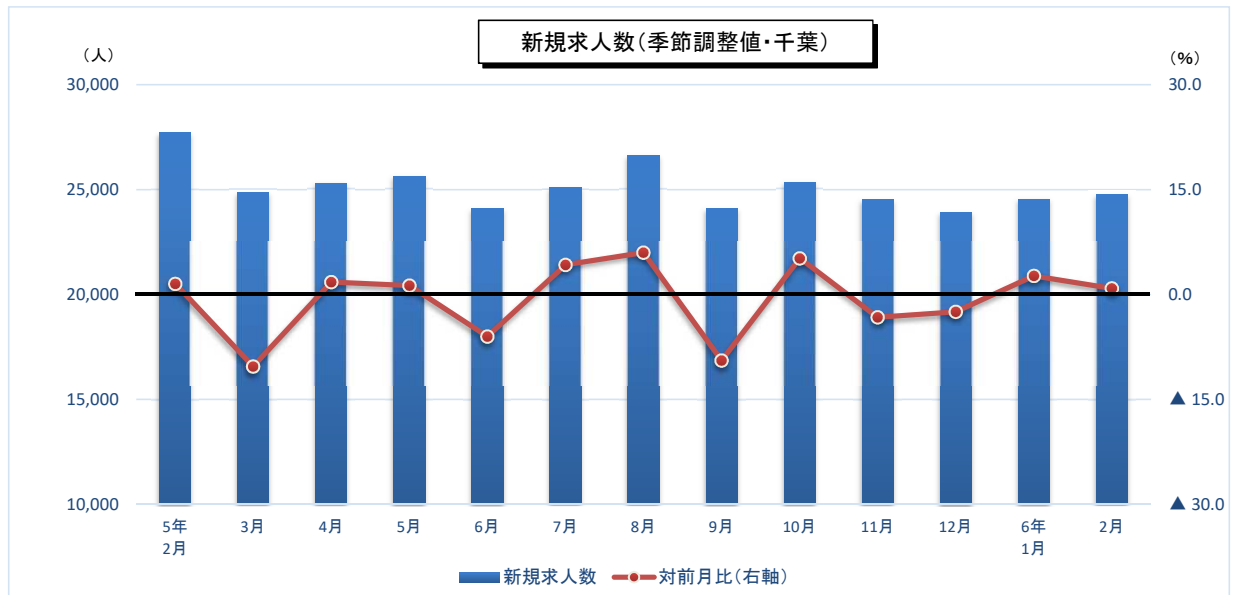
3. 雇用情勢

持ち直しの動きに一服感がみられる

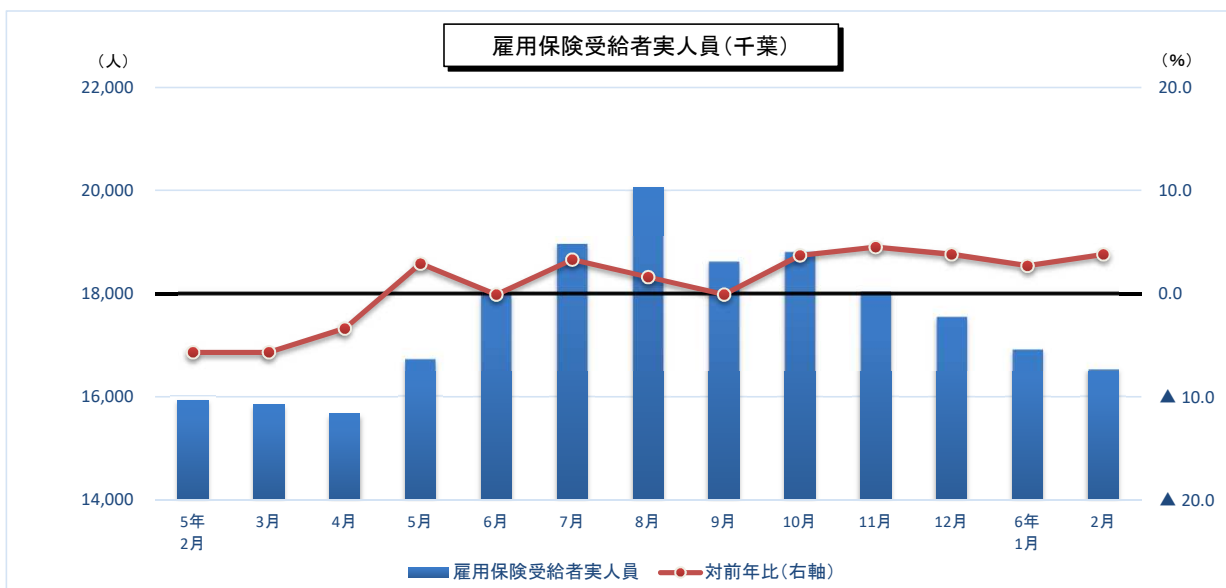


(注)四半期は期中平均である。

[千葉労働局]



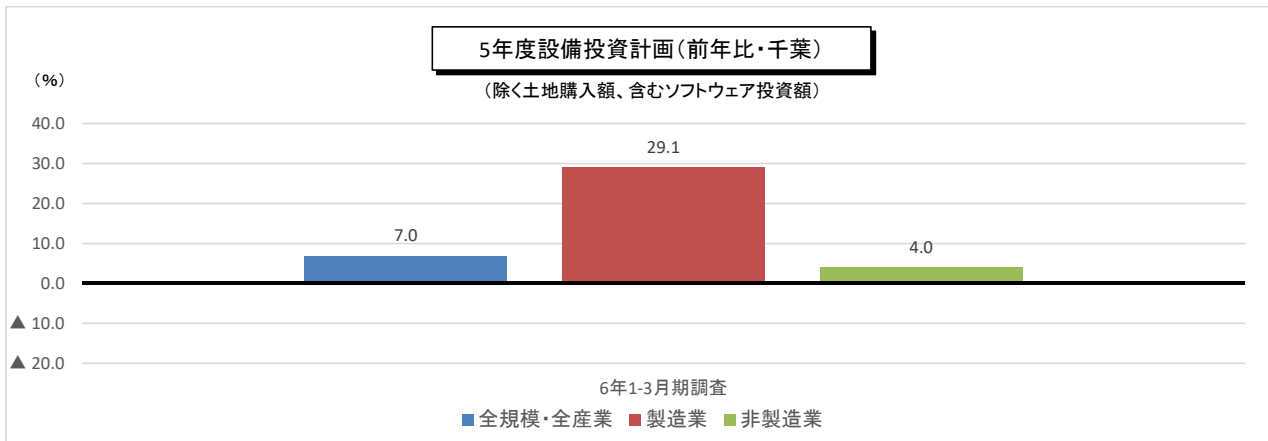
[千葉労働局]



[千葉労働局]

4. 設備投資

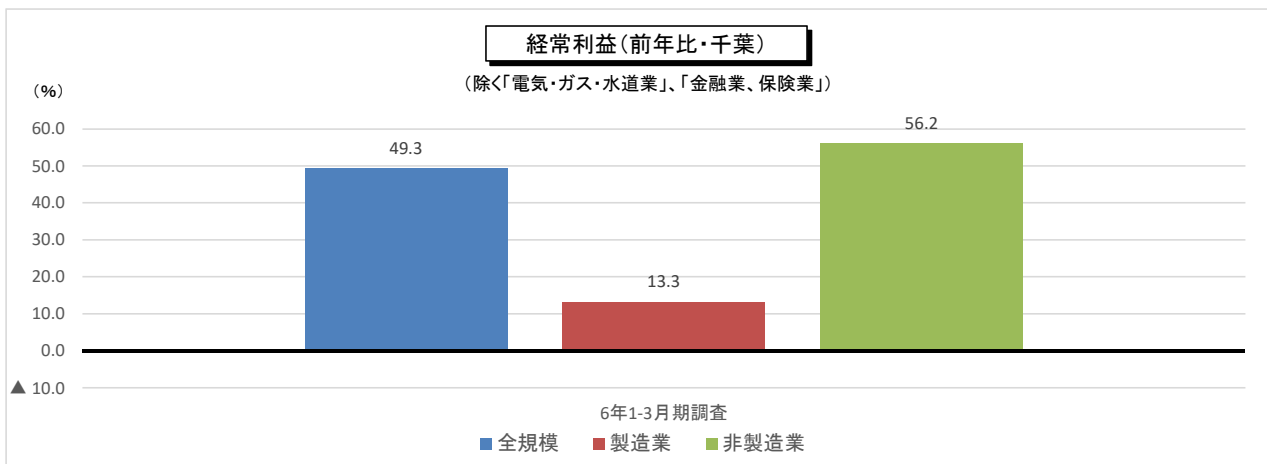
5年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

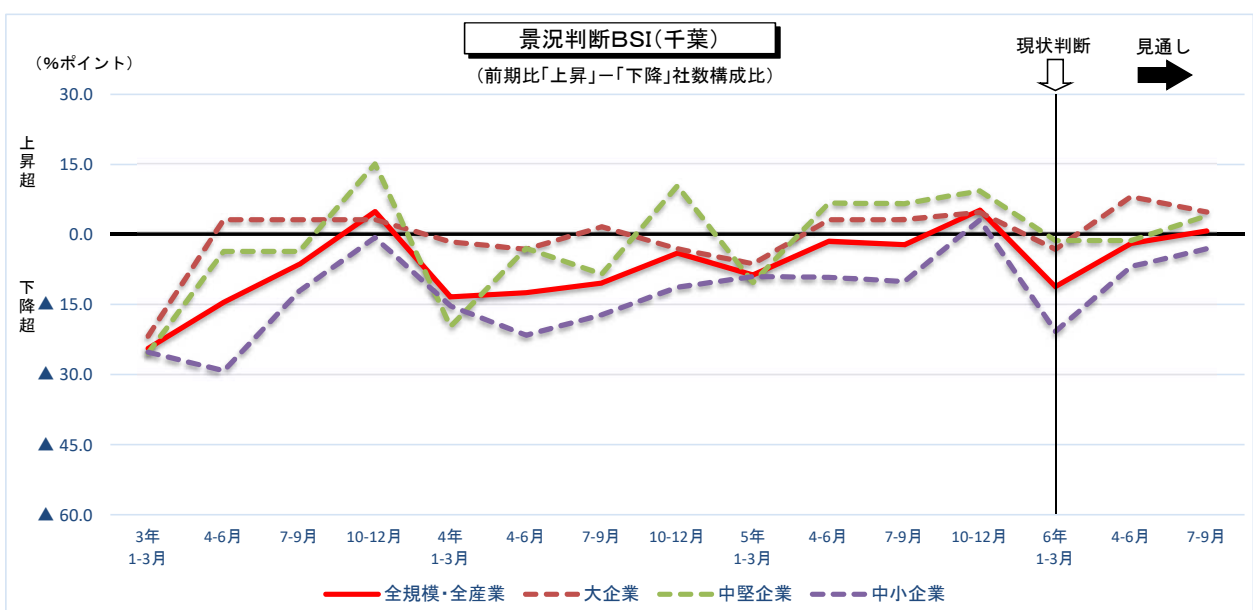
5年度は増益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

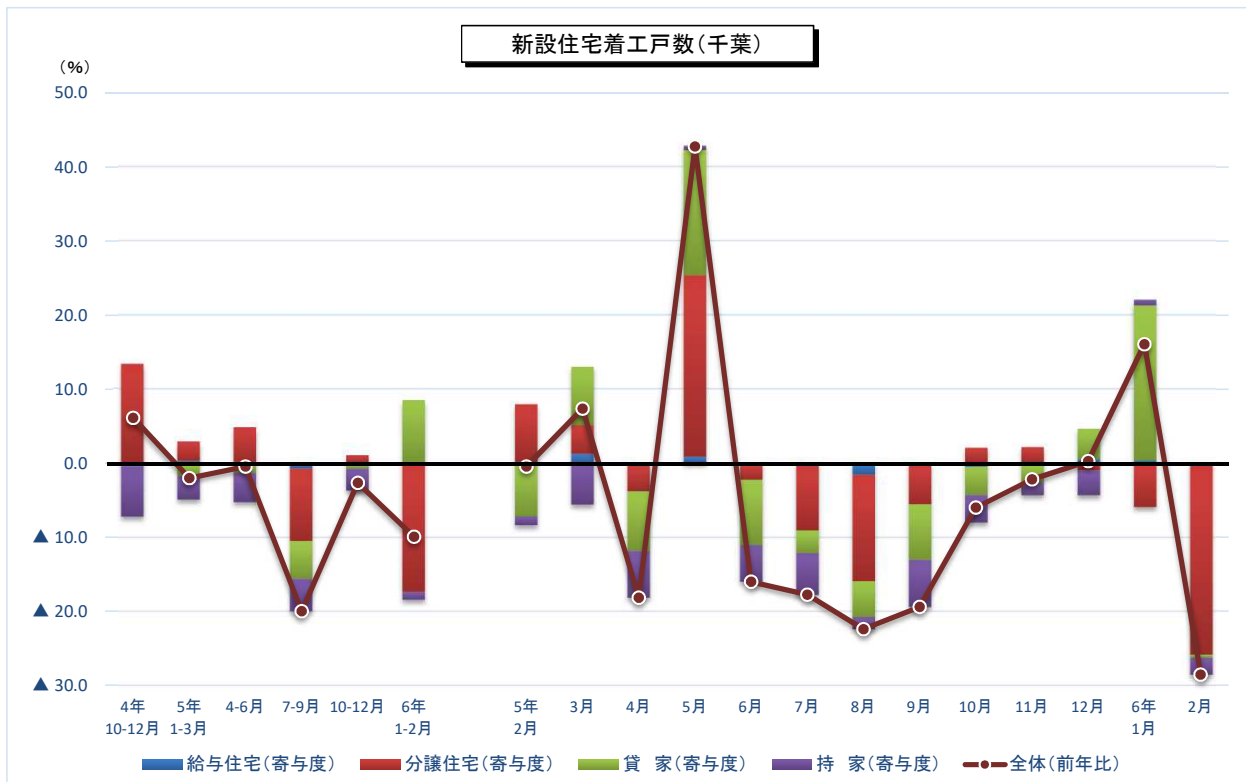
「下降」超となっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

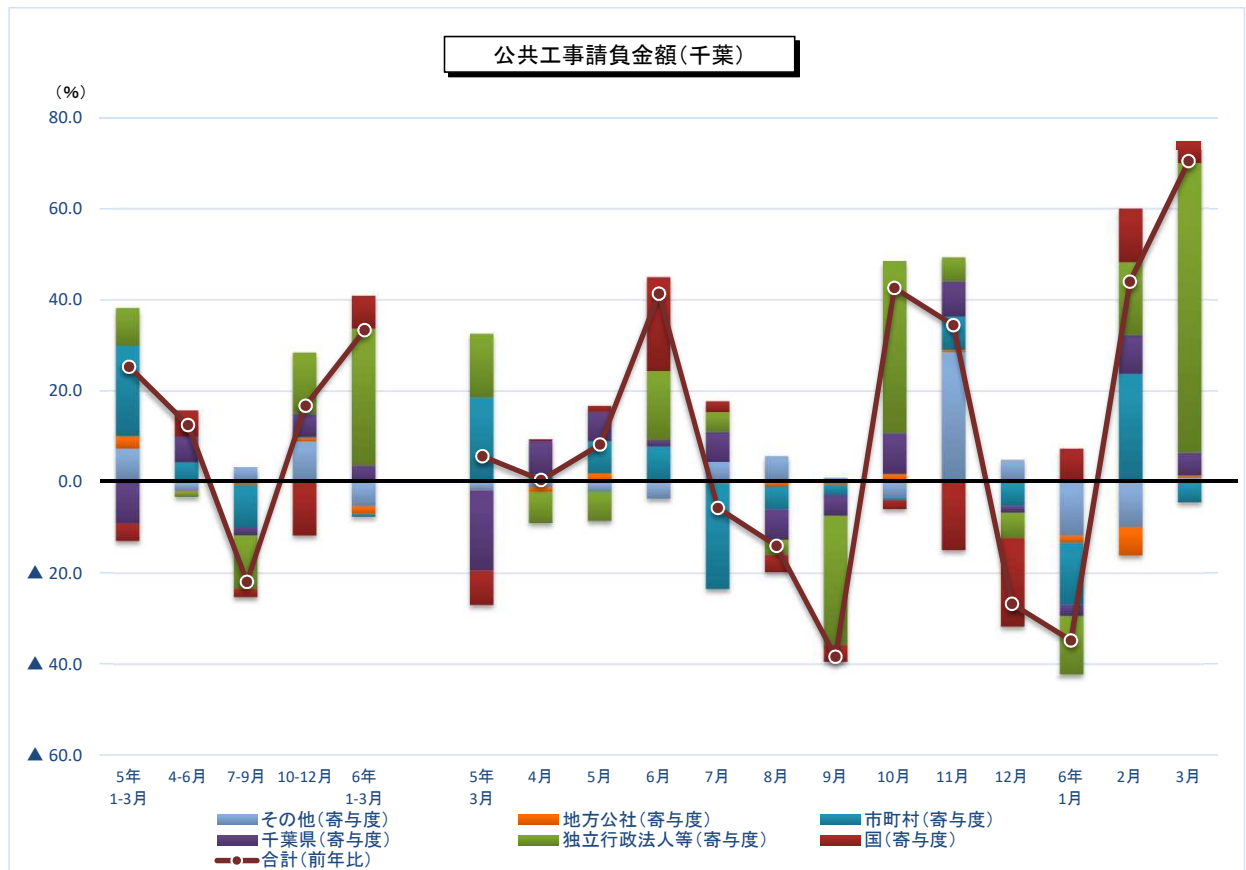
前年を下回っている



[国土交通省]

8. 公共事業

前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社]